

大牟田市立平原小学校

1 本校のESDの特徴

本校は、29年前に中国大同市第十八小学校と友好交流校を締結し、毎年正月や春節を祝い合うプレゼントの交換を行っている。また、学習内容を充実させるため、中国からの留学生を招いて、交流会を位置づけ、中国の自然や文化・伝統、生活の様子や春節について話をさせていただいたり、質問したりしている。また、3年前より岡山県岡山市立御休小学校とユネスコスクールとして交流するようになり、学期に1回ずつ、ビデオレターや手紙、模造紙による説明等で交流を図っている。内容は、クラス紹介や学校紹介から学校近くの文化遺産、活躍した人物紹介などある。どちらの交流も「つながり」を意識しながら続けている。

学習の中では、ESDの視点に立った授業展開を行い、研究のテーマである「消費者教育」を通して、「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」「批判的に考える力」の態度・資質を育成していくようにしている。学習過程においては、学び合いⅠ・Ⅱを位置づけ、交流する観点を明確にし、学習内容の共有化や深化を図っている。特に、学び合いⅠでは、自分の考えを構成し、友達と交流することを、学び合いⅡでは、交流してきたことをもとに考えの再構成、意思決定することを共通理解し共通実践している。今後は、アクティブ・ラーニングの趣旨を踏まえた主体的で対話のある協働的な学びへとつながっていくようにしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) 国際理解教育

①全学年の共通した学習

○大同市第十八小学校との交流

- ・7月7日に大同市第十八小学校より、副校長先生2名が来校され、子ども達の様子を見ていただいたり、日本の文化（茶道）を経験したりしていただいた。

○プレゼント交換

- ・大同市第十八小学校からは、日本の正月時期に、平原小学校からは、春節の時期に合わせて、お祝いのカードやプレゼントを作成し、交換し合っている。

(2) 学校間交流（岡山市立御休小学校）

○6年生を中心に、交流学習

- ・クラス、学校紹介や文化遺産、活躍した人物紹介をビデオレターや手紙、模造紙による説明等を通して、交流をしている。

(3) 消費者教育に関する各学年の主な内容

- ・1年生「自分の持ち物の片付け方」 (学級活動(2) 11月 1時間)
- ・2年生「あそび大すき あつまれ」 (生活科 11月～12月 17時間)
- ・3年生「わたしたちのくらし～店のしごと～」 (社会科 10月～11月 15時間)
- ・4年生「地域のお年寄りとおふれあおう～平原校区笑顔いっぱいプロジェクト～」
(総合的な学習の時間 11月～12月 19時間)
- ・5年生「上手に使おうお金と物～目指せ！買い物名人～」 (家庭科 12月 4時間)
- ・6年生「思いやり・親切プロジェクトをよりよくしよう」 (学級活動(1) 9月～2月 1時間)

3 特徴的な活動事例

< 4年 総合的な学習の時間 19時間

「地域のお年寄りとふれあおう～平原校区笑顔いっぱいプロジェクト～」(福祉教育) >

(1) 目標

○お年寄りと自分たちがどう関わっていくべきかを話し合うことができる。

【問題解決の能力】→ 批判的に考える力

○お年寄りの状況を考えて、友達と協力しながらふれあい会の計画を立てたり、学習したことを発信したりすることができる。

【学び方・考え方】→ 他者と協力する態度

○社会の一員として、お年寄りの立場や状況を思いやりながら関わっていくために、自分ができることを考え、行動することができる。

【自己の生き方】→ つながりを尊重する態度

(2) 実践の展開 (19時間)



○第1回目の「ひらばるの家」訪問では、お年寄りの方を楽しませ、笑顔になるようにとめあてを立て、計画・実践・振り返りを行った。

○第2回目の「ひらばるの家」訪問では、1回目の振り返りやお年寄りの方の思い・願いを大切に交流会を計画・実践・振り返りを行った。

○平原校区にいらっしゃる一人暮らしのお年寄りの方々も笑顔にしようとGTを招いて、「オレオレ詐欺」の被害や願いを聞いて、訪問した。



発信する場



1月19日(金)のユネスコスクール記念集会で全校児童、保護者・地域・見守り隊の方々に学習したことやこれからの生き方を発信した。子ども達の表情も、自信に溢れ、堂々としていた。見に来られた方々からもたくさんの褒め言葉をいただき、子ども達も喜んでた。

4 本年度の成果と課題

○成果

・4年生の実践では、単元を3段階に分け、子ども達の探究的な学習を旨とした。また、本校のESDの特色でもある①まとめ方(リーフレット・発信等)②地域とのつながり(GT依頼, 民生委員の方々のご協力等)③「消費者教育」の視点を盛り込むことで、子ども達の意欲面, 探究心, ねらう資質・能力が向上した。

○課題

・本校での消費者教育の特色を共通理解・共通実践し、今以上に各教科, 道徳, 特別活動にも生かしていきたい。また, 地域や行政関係とも連携し, 特色を出していきたい。